

# ジョージア政治・経済 主な出来事

【2016年9月5日～2016年9月11日】

[当地報道をもとに作成]

平成28年9月15日

在ジョージア大使館

## 1. アブハジア・南オセチア

### 【アブハジア】

#### ▼第39回IPRM会合(12日)

・ガリにて第39回IPRM会合が開催された。5月19日のフルチャでの射殺事件および2010年の殺人事件の捜査の状況、被拘束者の状態、行方不明者などに関して情報を交換。行政境界線付近での軍事活動に関する事前警告について議論が行なわれた。

・次回の会合は10月19日。

## 2. 外 政

#### ▼首相のアルメニア訪問(5日)

・クヴィリカシヴィリ首相がカラゼ・エネルギー相、ドンドゥア外務次官らとともにアルメニアを訪問し、アルメニアのサルグシャン大統領およびアブラハミャン・アルメニア首相と会談。

・「サ」アルメニア大統領との会談では、貿易・経済、物流、観光、通信、農業、人道、文化の分野におけるパートナー関係について議論。経済プロジェクトが滞りなく実施されるには、地域の安定が重要であると強調された。

#### ▼露軍事演習「カフカス2016」に関する外務省声明(5日)

・9月5日よりロシアが南部軍管区にて、12,500名の兵士が参加する大規模な戦略的軍事演習「カフカス2016」を開始したことについて、ジョージア外務省が声明を発表。演習の一部はジョージアの被占領地域に不法に設置された軍事基地でも行なわれており、その規模・内容から見て、演習は地域の安全保障・安定を深刻に脅かすものであると批判。また、ジョージアの被占領地域における大規模な軍事演習の実施および地域の軍事化により、ロシアは国際法の基本的な規範、国連憲章および2008年8月12日に結ばれた停戦合意に著しく違反しているとして、ロシアに対し、ジョージア領土の完全な非占領化を実現するよう求めている。

#### ▼スイス連邦議会議長のジョージア訪問(5日-6日)

・マルクヴァルダー・スイス連邦議会議長がジョージアを訪問。マルグヴェラシヴィリ大統領、ウスパシヴィリ国会議長、クヴィリカシヴィリ首相、ジャネリゼ外相らと会談。

・「ウ」国会議長との会談では国会間交流を含む協力について議論。ジョージア・露間の仲介者としてのスイスの役割が強調された。「ウ」国会議長は、ジョージアの山岳地域の発展に対するスイスの支援を高く評価した。

・クヴィリカシヴィリ首相との会談では、特に貿易・経済分野でのパートナー関係およびジョージア・EFTA間で締結された自由貿易協定の重要性に注意が向けられ、観光分野での協力の発展および投資の成長の見通しについて議論された。

#### ▼NATO事務局長のジョージア訪問(7日-8日)

・ストルテンベルグ NATO 事務局長およびメンバー諸国の NATO 大使で構成される北大西洋評議会 (NAC) がジョージアを訪問。「ス」NATO 事務局長はマルグヴェラシヴィリ大統領、ウスパシヴィリ国会議長、クヴィリカシヴィリ首相、イゾリア国防相、ジャネリゼ外相らと会談。

・NAC のジョージア訪問は4度目。NAC は NATO ジョージア共同訓練評価センターを視察。

・「ク」首相と「ス」NATO 事務局長との会談では、ジョージアの民主改革、国会選挙に向けた準備、NATO・ジョージア関係の発展の見通しなどについて議論された。

・NATO・ジョージア委員会会合後に行なわれた「ス」NATO 事務局長との記者会見で、「ク」首相は、ジョージアは一貫した改革を継続し、NATO 加盟の機会を辛抱強く待つと述べた。「ス」NATO 事務局長は、ワルシャワでの首脳会議で決定された通り、NATO は黒海地域でのプレゼンスを強化すると強調。また、ジョージアが将来 NATO に加盟するというブカレストでの決定を再確認しつつ、「加盟はジョージアの前進、達成した成果に基づくものであり、決まったタイムテーブルはない」と述べた。

#### ▼ジョージアの領土一体性に関する米下院決議(9日)

・米下院が、ジョージアの領土一体性を支持し、ロシアによるジョージアの地域の占領を非難する決議を採択(賛成410、反対6)。

・決議は、アブハジアおよび南オセチアを含むジョージアの領土・領空・領海に対するロシアの権利を米国が決して認めないことを明確に宣言し、ジョージアの NATO への接近を含めたジョージアとの協力を強化するよう米国政府に求めている。また、アブハジアおよび南オセチアの独立承認を撤回し、2008年8月12日の停戦合意の実現に向けた措置をとるようロシアに呼びかけている。

#### ▼北朝鮮の核実験に関する外務省声明(10日)

・9月9日に北朝鮮が核実験を実施したことについて、ジョージア外務省は深い懸念を表明し、「このような行動が地域の安全・安定の維持を脅かすことについて国際社会の懸念を共有し、国連安全保障理事会が実効的な措置をとるよう期待する」との声明を発表。

#### ▼仏国防相のジョージア訪問(10日-12日)

・ルドリアン仏国防相がジョージアを初めて訪問。マル

グヴェラシヴィリ大統領、クヴィリカシヴィリ首相、イゾリア国防相らと会談。仏の支援で開設されたサチヘレ山岳訓練所の開設 10 周年を記念する行事に出席した。

・「イ」国防相との会談では防空、軍事教育、国際ミッションなどにおける協力について議論。会談後に行なわれた共同記者会見で、「ル」仏国防相は、中央アフリカ共和国で EU ミッションに対するジョージアの貢献を歓迎し、「10 月にはフランスの艦船がバトウミ港に到着する。これはジョージアとの緊密かつ建設的な協力を象徴するものである」と述べた。

### 3. 内 政

#### ▼国会選挙前の最後の国会が不成立(7日)

・慣例で国会選挙前 1 か月間休会するため、国会は 7 日に最後の会議を行なう予定であったが、集まった議員は 30 名で、定足数 76 に達せず、国会は成立しなかった。統一国民運動は 5 月のコルツヘリ村の暴力事件以降、国会をボイコットしている。

・最高裁判所裁判官の候補者、司法改革などについて採決が行なわれる予定であった。

#### ▼エネルギー相、農業相の辞任(9日)

・カラゼ副首相兼エネルギー相およびダネリア農業相が国会選挙への出馬のために辞任。クヴィリカシヴィリ首相はダヴィタシヴィリ農業次官およびエロシヴィリ・エネルギー次官をそれぞれ後任の農業相、エネルギー相に任命した。

・また、「ク」首相は、10 月の国会選挙後に、ゲゲシゼ駐米大使に代わる新駐米大使として、バクラゼ欧州・欧州大西洋統合担当国務大臣を任命することで大統領と合意したと述べた。2014 年 11 月まで、「バ」欧州・欧州大西洋統合担当国務大臣は駐ギリシャ大使を務めていた。

#### ▼大統領が憲法裁判所裁判官を指名(10日)

・マルグヴェラシヴィリ大統領は、9 月 30 日に 10 年間の任期を終えるパプアシヴィリ憲法裁判所長官およびヴァルゼラシヴィリ同副長官の後任に、イメルリシヴィリ国家安全保障会議書記およびクヴェレンチヒラゼ元大統領政務官(2014 年 6 月～2016 年 4 月)を指名。

・9 月末には更に 2 人の任期が終了し、最高裁判所および国会がそれぞれ 1 名ずつを任命する予定。

### 4. 経 済

#### ▼リトアニア経済相のジョージア訪問(5日～6日)

・グスタス・リトアニア経済相がジョージアを訪問。クムシシヴィリ経済・持続的発展相と会談。両経済相が出席し、ジョージア・リトアニア政府間委員会の第 2 回会合が行なわれた。「ク」経済・持続的発展相は、両国間の貿易額の成長や観光および農業分野での協力を高く評価。

#### ▼政策金利の引き下げ(7日)

・国立銀行が政策金利の 6.75% から 6.5% への引き下げを決定。国立銀行通貨政策委員会は、「決定はインフレ目標が達成されるよう通貨政策の引き締めが段階的に終了されるべきであるとのマクロ経済予測に基づくものである」とのコメントを発表。

・年間インフレ率は 7 月の 1.5% から 8 月には 0.9% に低下した。2016 年の目標インフレ率は 5%。

#### ▼中国人力資源・社会保障部長のジョージア訪問(8日)

・尹蔚民・中国人力資源・社会保障部長がジョージアを訪問。クヴィリカシヴィリ首相、セルゲエンコ労働・保健・社会保障相らと会談。

#### ▼2016年上半期の直接外国投資(8日)

・2016 年上半期の直接外国投資額(速報値)は 834 百万ドル(前年同期比 11% 増)。対内投資 2,047 百万ドル、対外投資 1,213 百万ドル。

・ジョージアへの投資額の多い順にアゼルバイジャン 283 百万ドル、英国 108 百万ドル、トルコ 85 百万ドル、オランダ 42 百万ドル、チェコ 38 百万ドル、パナマ 30 百万ドル、米国 22 百万ドル、オーストリア 21 百万ドル、キプロス 21 百万ドル、サウジアラビア 10 百万ドル。

・分野別では物流・通信 377 百万ドル、金融 118 百万ドル、エネルギー 85 百万ドル、医療・社会事業 40 百万ドル、建設 38 百万ドル、不動産 37 百万ドル、ホテル・レストラン 32 百万ドル、製造業 31 百万ドル、鉱業 23 百万ドル。

#### ▼国際フィン観光会議(7日～9日)

・クヴァレリにて国連世界観光機関主催の第 1 回国際フィン観光会議が開催された。会議には 42 か国および 150 の機関の代表者が参加。

・会議にはリファイ国連世界観光機関(UNWTO)事務局長が出席。同事務局長はクヴィリカシヴィリ首相、クムシシヴィリ経済・持続的発展相らと会談を行なった。